

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

https://kosaiji.net/

法座のご案内

御正忌報恩講 (於広濟寺広間)

一月十五日(水) 午後二時より
十六日(木) 午前九時半より(午前のみ)

※ お勤め・法話共に、御堂ではなく、
ストロブで暖かくした広間にて行います

今号の法語

今年こそ
今年こそとて
暮れにけり



今号の内容

- ・子ども報恩講が大盛況!
- ・能登半島地震支援活動報告
- ・千夏のきときと日記
- ・住職コラム



今年も気がついてみればもう年の瀬。「今年こそは」と思っていたのも束の間、時間が経つのは本当に早いものですね。

思えば一年前の今頃も同じように思っていました。もつと言えばその前の年も、そのまた前の年も……。初めこそ「今年こそは!」と張り切るのですが、一旦崩れるとなかなか上手くはいかないものです。

「今この一秒の集積が一日となり、その一日の積み重ねが一週間、一ヶ月、一年、そしてその人の一生となっていく」(稻盛和夫)という言葉があります。

「今年こそ」と大きく見ることとも大事ですが、まずは「今この一秒」を大事にすることからですよ。

先延ばしではなく、「今」を見ていく。今年最後の反省です(汗)

皆で1つずつ献灯しました



子ども報恩講が大盛況!

能登半島地震支援活動報告

十一月五日・六日にわたり、おかげ様で二年ぶりに報恩講を勤めることができました。子ども報恩講については、お寺の報恩講に先立つ形で祝日の四日に開催。二年ぶりということで心配していたのですが、五十二名の子も達が集まり大盛況となりました。

まず親鸞聖人に灯明をお供えし(献灯)、お経のお勤め。お寺の内陣を探検した後は、お楽しみの縁日遊び。ご門徒さん方のご協力によって、とても楽しい時間となりました。子どもの洋服を持ち寄ったフリーマーケットも好評で、売上金は全て、能登半島地震炊き出し活動における支援金とさせていただきます。

ご門徒さんはじめ、地域の方々やご縁ある方々がお寺に集まってくくださることは大変ありがたいことです。

お寺参りが楽しくなるよう、これからも少しずつですが前に向かって歩んでいきたいと思えます。皆さんの声・アイデアも是非教えてくださいね♪宜しくお願い致します。

二〇二四年元旦に発生した能登半島地震からまもなく一年が経とうとしています。

広濟寺が所属する本願寺派高岡教区では、炊き出し活動をはじめ、最近ではお米支援などの活動をしてきました。全十一回の炊き出し活動のうち、広濟寺仏教婦人会が中心となったのが三回ありました。

毎回本当にたくさんの方々にご協力いただいています。畑で採れた野菜の提供から、前日までの下準備、当日の活動、翌日の片付け、そして支援金協力まで、まさに広濟寺チームとなつての活動でした。本当にありがとうございます。

被災地の方々は仮設住宅に入居されたとはいえ、未だこれから先が見通せない状況で



輪島市門前町の道下第2団地集会所にて(12/6)

す。現実には厳しいことばかりですが、少しでも心が安まることを願って活動を継続していきます。

皆さんの支えをいただきながらの活動です。お願いばかりしており恐縮ですが、今後とも宜しくお願い致します。

千夏のきときと日記

テレビから某ハンバーガーショップのコマーシャルが流れてきました。

俳優さんが「キティちゃんは失敗が怖くないの？」と聞きます。キティちゃんは「失敗は挑戦した証！全部私の宝物よ」と答えました。

そのキティちゃんという言葉聞いた時、今年一年自分自身が挑戦したことが色々思い浮かんできました。今年の三大挑戦は、①能登半島への炊き出し、②夏に行った十日間の研



修、③子ども報恩講です。その他毎日の出来事での小さな挑戦といえば、新しいレシピで料理をしてみたこと、毎日の生活リズムを変えてみたこと、苦手な白子を食べてみたことです。大きな挑戦から小さな挑戦まで今思えば何かしら挑戦している日々だと思います。

挑戦する、ということとはとても勇気がいることですし、失敗することもあるので怖いですよね。私の人生での一番の挑戦は、お寺に嫁がせていただいたことかもしれませぬ。でも「大丈夫だよ」と言ってくださるその周りの方々に助けももらった積み重ねで何とかなっているように感じます。

浄土和讃に「十方微塵世界

の念仏の衆生をみそなはし撰取してすてぎれば 阿弥陀となづけたてまつる」という言葉があります。阿弥陀如来は、私たちを必ず救う、捨てぬと誓われて、どこまでもはたらかれるお慈悲があります。そのようなお慈悲に包ま

住職コラム

ようやく雪が来ました。もう間もなく正月という時やつと雪が積もり、スキー場もほっとするでしょう。

寒さがなければ、梅や桜もたくさん樹木も花を咲かせられないし、新芽も出てこれませぬ。

当たり前が当たり前でなかった

ら大変。



れて安心して挑戦させていただいているんだなあと寒い日々の中、温かさを感じた私でした。



海の水も当たり前前の海水温ではなかったら困ったことになる。地球の温暖化ということで、今現実に変化してきています。

この夏のように暑すぎてもダメ。氷のようにいつまでも寒すぎてもダメ。ほどほどがよいらしい。

極端すぎないで、まあいい感じでもいいありがとう。「おかげさまで」と言えるようになるといいですね。

ありがとう。なまんだぶつ。

合掌

お知らせ

令和六年

除夜の鐘

十二月三十一日(火)

午後十一時四十五分より

令和七年

元旦会

一月一日(水)

午前五時より

御正忌報恩講

一月十五日(水)

午後二時より

十六日(木)

午前九時半より

御講師

砺波組 明覚寺

林 要昭 師

除夜の鐘

12月31日(火)

午後11時45分～0時45分頃

※撞いている間も出入り自由です。
いつでもお越しください。
本堂におられる阿弥陀様にもお参りしましょう。



※月参りについて

一月一日・二日・三日の三日間は
お休みさせていただきます
(祥月命日は除く)。

編集後記

世間はちょうどクリスマス。テレビや広告など、至るところでサンタさんの姿を見かけます。

ところであのサンタさん、プレゼントをくれる、うれしいサンタさんもいれば、そうでないサンタさんもいるのはご存知ですか？

なんと世の中には、「黒いサンタ」もいるのだそうです。ドイツが有名で、いたずらばかりの悪い子には、プレゼントではなく石炭の塊かたまりや石・小枝(親が悪い子を鞭打むちつためのもの)を置いていくとのこと。あげく、子どもを連れ去ってしまうこともあるのだそう。

秋田県の「なまはげ」文化とも似てますよね。

子どもの教育に関わるものだと思いますが、仏教に置き換えれば何があるでしょう？

昔は、嘘をついたら閻魔えんまさまに舌を抜かれる、悪いことをしたら地獄に落ちると教わりませんでしたか？

懐かしくもあり、大切にしたい文化です。

